

2020年度 NITE講座・後期(シラバス)



科目名	微生物遺伝資源・情報へのアクセスと産業基盤	拠点 (開講機関)	事前登録者向けオンラインセミナー (製品評価技術基盤機構)	講義日時	2020年3月24日(水) 13:30~16:20
科目概要 (300字)	<p>バイオテクノロジーは、人々の医療や健康の増進、食料の安定供給、生物を利用する広範な産業において利用されている技術です。近年、バイオテクノロジーのゲノム編集やゲノム解析など急速に発展する技術とAIなどのデジタル技術を融合することで、ものづくり、医療・創薬、エネルギー、農業等様々な産業分野で発展をもたらす“バイオエコノミー”時代を迎えており、NITEはバイオ戦略に謳われているバイオエコノミー社会の実現に貢献すべく、バイオとデジタルの融合を進めているところです。</p> <p>本講座では、NITEが保有する微生物遺伝資源や昨年度より稼働した生物遺伝資源データプラットフォーム(DBRP)を紹介します。また、微生物遺伝資源の活用に必要な生物多様性条約やカルタヘナ法に加え、知的財産の保護に必要な特許寄託制度について紹介し、企業等による微生物遺伝資源の利活用促進に貢献するNITEの取組を紹介します。</p> <p>本講座を受講することにより、微生物遺伝資源及びその情報の入手、利用に必要な知識を得ることができます。</p>				

科目構成	No.	講義	講義概要(150字)	講義日	時間	開講場所	講師	講師所属
オリエンテーション			本講座の進め方、注意事項について説明いたします。 各講義ごとに質疑応答の時間を設けますが、最後に全体の質問時を設けます。	3月24日(水)	13:30~13:40	zoomによるオンラインセミナー (Live配信)		
生物遺伝資源・情報へのアクセス	1	NITE保有株の利用について	NITEでは、ISO9001による管理がなされた国内外の研究者から寄託された微生物であるNBRC株と、スクリーニング用途として独自に収集し属レベルでの同定がされたRD株の提供を行っています。本講義では、新たに開始したオンライン手続きを含めた菌株利用の手続きや、コロナ禍の現在において需要の高まっている検定菌について紹介します。		13:40~14:10		柴山洋翔	NITE バイオテクノロジーセンター 生物資源利用促進課
	2	DBRPの利用について	生物資源データプラットフォーム(DBRP)では、情報をリンクづけし集約することで、生物の基本情報だけでなくその関連情報も一元的に提供します。また、withコロナ時代の新しいマッチングとして、微生物等の生物資源を使ってもらいたい機関と利用したい人とを結ぶ役割を担います。また、DBRPの操作方法についても説明いたします。		14:15~14:45		久保寛之 牧山葉子	NITE バイオテクノロジーセンター 計画課バイオデジタル推進室
生物遺伝資源の鉱工業利用	3	生物多様性条約及びカルタヘナ法について	生物多様性条約は生物多様性の保全、持続可能な利用、利益の公正かつ衡平な配分を目的としています。生物多様性条約に関連して、生物資源の利用時には様々な手続きが必要となります。海外の遺伝資源を利用したり、遺伝子組換え生物を鉱工業利用したりする際に、円滑に手続きを行うためのNITEの取組について紹介します。		14:50~15:20		増田有紗	NITE バイオテクノロジーセンター 生物多様性支援課
	4	特許微生物寄託制度について	微生物を利用した発明に関する特許を成立させるには、容易に入手できる場合を除き、その微生物を特許庁長官の指定する寄託機関もしくはブダペスト条約上の国際寄託当局(IDA)に寄託しなければなりません。本講義では、特許微生物寄託制度の概要について解説します。		15:25~15:55	黒岩誠	NITE バイオテクノロジーセンター 特許微生物寄託センター	
質疑応答					15:55~16:15			
閉会					16:15~16:20			